

第3期小菅ヶ谷つながるプラン
第2回 町内会自治会訪問まとめ

小菅ヶ谷連合町内会



東武本郷台自治会

設立時期 : 1976年
世帯数 : 367世帯
月会費 : 400円
班数 : 15班
シニアクラブ : 爽和会 122名
子ども会 : なかよし文庫 98名
(子ども会相当)
70歳以上の人数 : 223名



とても使い勝手の良い新自治会館

当自治会は小菅ヶ谷地区の東端にあり、一部は港南区に接している。自治会内に店舗やマンションはなく、アパートが2棟あるだけの閑静な住宅地である。
平成30年4月、念願の新自治会館が完成し、活動が活発に行われている。爽和会には11のサークルがあり、活動が盛んである。また、近隣3自治会町内会で共同管理するテニスコートでは、多くの人々が楽しんでいる。
平成25年に「とうぶ支え合いの会」が立ち上がり、「日常生活の支援」や「災害時の声かけ」活動を開始した。
災害対策としては、秋の域内一斉清掃の日に、白いタオルを掲げて安否情報を発信する災害訓練を実施している。同日、支え合いの会による声かけも実施しており、前もって決められた人が担当の方を訪問している。自治会、とうぶ支え合いの会、爽和会、なかよし文庫が連携し、活発に活動している地域である。

市営本郷台住宅自治会

設立時期 : 1973年
世帯数 : 237世帯
月会費 : 2,200円
(共益費を含む)
班数 : 14班
シニアクラブ : 本若宮会 50名
子ども会 : なし
70歳以上の人数 : 120名



友愛活動

市営本郷台住宅は本郷台駅前に昭和47年に建設された。駅前の様子は様変わりしたが、当時から変わらず住み続けておられる方もいる。比較的高齢者世帯が多いが、小さなお子さんのおられる世帯の入居も見られる。人通りの多い駅前ということで、住民の自転車へのイタズラや、敷地内への不法侵入などがあり、近年は治安面で不安を感じることも増えてきた。今後は防災面の充実に加え、住民の安全、治安の確保に努めていきたいと思う。

小菅ヶ谷つながるプランとは

私たちの住んでいる栄区は、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるため、地域福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）を推進しています。小菅ヶ谷地区でも少子高齢化社会を迎えた現在、地域の中での福祉や健康のニーズが高まっており、これまで以上に一人一人の生活に合った対応が求められています。そこで、これらのさまざまな課題に主体的に取り組んでいくため「第3期小菅ヶ谷つながるプラン」をつくり、現在活動を進めています。このプランを推進していくのは小菅ヶ谷地区に住む一人一人です。身近な町内会や自治会と地域のみんなが協力し、安心して暮らせる「ふるさと小菅ヶ谷」をつくっていきましょう。

第3期活動のテーマ

- ・地域の中でつながろう
- ・地域で子育てを応援しよう
- ・健やかな心と体を育てよう
- ・災害時に備えた平常時からの要援護者支援に取り組もう

編集後記

5年計画で進められている第3期「小菅ヶ谷つながるプラン」は、今年度中間地点を迎えています。今回のつながるプランニュースでは、前回紹介できなかった町内会自治会訪問についてまとめた内容を掲載しました。他の町内会自治会の活動を参考にして、それぞれの活動が充実したものになることを祈っています。町内会自治会は違っても、目指しているものは同じ。誰もが安心して暮らせる『ふるさと小菅ヶ谷』を実現させましょう！

小菅ヶ谷つながるプラン ニュース

第5号

発行日 : 平成30年12月26日 発行元 : 第3期小菅ヶ谷つながるプラン推進会議
発行責任者 : 田中 健次 事務局 : 小菅ヶ谷地域ケアプラザ

みんなでつくるふるさと小菅ヶ谷

小菅ヶ谷地区のつながりが深まりました！

小菅ヶ谷レクリエーション

10月7日(日) 場所 : 小菅ヶ谷スポーツ広場



敬老の集い

9月15日(土) 場所 : 栄公会堂 (たっちーらんど)



「第2回(7月1日)、第3回(8月5日)町内会自治会意見交換会」を開催しました。

* 町内会自治会訪問のまとめは、中面と4面に掲載しましたので是非ご覧ください！

小菅ヶ谷町内会

設立時期 : 1971年
世帯数 : 1,100世帯
月会費 : 250円
班数 : 103班
シニアクラブ : 小菅ヶ谷プラチナ会 68名
子ども会 : 145名
70歳以上の人数 : 400名



夏祭り

小菅ヶ谷町内会は本郷台駅西側、小菅ヶ谷1～2丁目を中心とした地域にある。加入数1100世帯、9地区から形成されていたが、2018年度よりNTT社宅売却に伴い1地区減少。活動の中心であった集会所(敷地内)も撤去されることとなった。各地区、居住形態や年齢構成が大きく異なるが、住民同志のつながりを深める活動は続けている。主な活動は、花の木橋にて200発の花火を打ち上げる納涼花火大会。子ども達へ花火のプレゼントや各地区が趣向を凝らした出店で賑わい、浴衣姿の幼子が親に手を引かれ参加する姿がほほえましい。

春日神社例大祭では、子ども神輿、山車の町内ねり歩きで綱の引手は子ども達、安全確保のため、周りを大人が囲み長い列になる。正月行事は、中坪公園にて午前餅つき大会(餅、豚汁の販売)。午後はさいと焼で薩玉を配布、甘酒もふるまい、西本郷中学校吹奏楽部による素晴らしい演奏も行われる。また、顔の見える関係づくりを目的とした世代交流「ぬくもりこすかや」も12年目を迎え、毎月第2土曜日ルーテル保育園で活動をしている。今後の課題はシニアへの支援、防災時対応への取り組み、防災関係委員会の設立。そして最大の課題は、集会所建設である。

第3期小菅ヶ谷つながるプラン 第2回 町内会自治会訪問まとめ

小菅ヶ谷連合町内会



本郷台中央自治会

設立時期 : 1976年
世帯数 : 303世帯
月会費 : 500円(会館積立金含む)
班数 : 13班
シニアクラブ : 若葉会 113名
子ども会 : 本郷台中央子ども会 33名
70歳以上の人数 : 270名



夏祭りの舞台が完成しました!

日本ランドシステムが山を宅地造成し、1974年より入居が始まった。一戸建てが主で、その当時から住居がほとんどを占めている。高齢化が進んでいるが、近年、小規模の開発や入居者の入れ替わりもあり、若い家族も増えている。自治会長、役員、班長は毎年交代している。若葉会の活動が盛んで、ヨガ、体操、グランドゴルフ、囲碁などを行っている。子ども会の活動として、「1年生を迎える会」「ラジオ体操」「6年生を送る会」などの行事がある。若葉会と子ども会の交流も行っている。

防災・防災について

「歩みの会」で週4回、夕刻に地域パトロールを実施。空き家が増加傾向にあり、当該不動産管理者へ草刈りを依頼している。昨年度より、町内一斉清掃時に「安否確認訓練」を行うようになった。また、小山台小学校地域防災拠点の防災訓練に参加している。今後の課題として、自治会の備蓄食料は世帯数に対し1食分程度の蓄えしかできていないので、各戸での備蓄を促すなど啓蒙活動が必要である。また、各班で引き継がれている「要援護者名簿」の内容の更新と、発災時どのように活用するのか整備が必要である。

大船富士見台自治会

設立時期 : 1973年
世帯数 : 141世帯
月会費 : 300円
班数 : 7班
シニアクラブ : 大船富士見台寿会 72名
子ども会 : 設立準備中
70歳以上の人数 : 110名



防災の取り組み 消火訓練

当自治会は栄区飯島町の一部であるが、地理的關係などから小菅ヶ谷連合に属している。いたち川と豊田地区に接し、小菅ヶ谷の最西部に位置し、落ち着いた戸建の多い住宅地である。高齢者が多くなっているが若年世帯の転入も目立ち、年齢構成も変化している。空き家が散見される。

☆重点的な取り組み

○居住者票の作成(2年ごとに更新、会長が管理保管)

「日常支援が必要」「災害時支援が必要」等を日常的に把握整備し、緊急時に活用できるようにしている。

○高齢者見守り活動

75歳以上の独居世帯、高齢者のみの世帯に対し、週1回訪問している。シニアクラブは70人以上の会員を擁し、積極的な活動を行い、親睦を図っている。

○健康作り

健康クラブは発足13年めになる。健康体操(月3回)、ウォーキング(月1回)を実施している。参加者が固定化されつつあるので、健康づくり活動を周知させたい。

○親子・子育て

餅つき大会、納涼花火大会、ラジオ体操、防災訓練等を通じ、子どもや若い世代とのふれあい交流を深めている。

○安全パトロール

地域の安全を守るため、週1回安全パトロールを実施している。

本郷台駅前市街地住宅自治会

設立時期 : 1972年
世帯数 : 838世帯
月会費 : 250円
班数 : 56班
シニアクラブ : みどり会 76名
子ども会 : 活動休止中
70歳以上の人数 : 159名



交通安全運動における活動で表彰

建物は昭和47年(1972年)に竣工、同時期に自治会も発足。駅前なので催しが多く、参加協力している。現在は正月に振る舞い酒、2月にヤングフェスティバル、9月に本郷台駅前祭り、自治会主催では敬老会、餅つき大会等がある。URと情報交換、ルールを守って住みよい暮らしを目指している。

転入者は高齢者が多い。入居の際、自治会への加入を促しているが、加入率はよくない(67%)。自治会の班数は56で、各階に階役員がおり、16世帯位を担当している。

また、棟ごとに代表・副代表がいて、毎月第1土曜日の定例会に出席し、自治会活動に参加している。

みどり会(シニアクラブ)、木曜会(グランドゴルフ)、麻雀クラブなど趣味を共有して仲間づくり、健康づくりも盛んで活動も充実している。

子育てに関しては、赤ちゃんが誕生するとプレゼント、入学時には図書カードを贈っている。

防災に関しての自治活動では、災害時対策本部を組織し、情報班、炊事班、救護班、パトロール班等を運営。各戸には備蓄を呼びかけると同時に、商店会と合同の防災訓練を実施している。

また、建物は耐震工事も完了し、構造的に基準を満たしている。災害時は一時避難所として空地もあり、対応することになっている。

小菅ヶ谷第一町内会

設立時期 : 1969年
世帯数 : 1,400世帯
月会費 : 300円
班数 : 120班
シニアクラブ : 小菅ヶ谷戸親睦会 45名
子ども会 : なかよし子供会 210名
70歳以上の人数 : 400名



小菅ヶ谷レクリエーション大会参加者

戸建が多く(800世帯)、西谷戸町内会が独立したところからマンションが増えてきた(600世帯)。町内会加入率は95%。町内会名簿を作成し、2～3年ごとに更新している。町内会館が老朽化したので建て替え、平成30年3月に竣工した。町内会の取り組みは、さいと焼き、安否確認訓練、町内一斉清掃、納涼盆踊り、文化祭・神輿の応援・子ども神輿、地域防災訓練(於:本郷台小学校)、小菅ヶ谷連合レクリエーション参加、敬老お祝い品配布、ふれあい祭り、敬老昼食会と数多く、行事への参加を推進し、幅広いコミュニケーションを図っている。

70歳以上の高齢者が小菅ヶ谷連合の中でも一番多い割に小菅ヶ谷戸親睦会(シニアクラブ)への加入率は低い。シニアクラブでは毎月例会を開き、親睦を図っている。

子育て支援では、なかよし子供会の各種行事への参加を促進しており、また本郷台小学校、本郷特別支援学校との交流も盛んである。さらに地域学援隊を中心に、登下校時の見守りも行っている。

防災に関しては、東日本大震災を契機に防災プロジェクトチームを立ち上げ、毎月、定例検討会議を開催し、安否確認訓練の実施(訓練参加者79%)や第一町内会震災対策冊子の全戸配布、「安全パトロール」の実施等、実績を上げている。特に民生委員との連絡を密にして、障がいを持つ方、独居家庭(高齢者一人住まい等)に注力している。